

製品やサプライチェーンへのサイバー攻撃を知り、対策を考える

サイバーセキュリティ講座

自動車
業界編

ビジネスでサイバー空間の存在は欠かせないものとなりましたが、サイバー空間が生まれたことで脅威も増え、さらにサイバー攻撃による犯罪も巧妙化かつ悪質化し、被害例も数多く取り上げられています。自動車業界ではサプライチェーン全体で影響が拡大する恐れもあり、また、製品がサイバー攻撃の対象となることで不良や思わぬ事故につながる可能性もあるなど、重要視すべき事象の1つとなりました。このような背景を踏まえ、本講座は組み込みシステムおよびインターネットのセキュリティ専門家を講師として招き、車載ネットワークへの攻撃などサイバー攻撃の動向と企業対応の実態を知り、今後のセキュリティ対策・求められる人材育成を考える機会として開催します。

日時

令和5年12月15日(金) 13:30~17:00

※講座終了後、懇親会(講師参加)を予定[先着10名]

会場

アクトシティ浜松 研修交流センター

対象

- 自動車関連企業のセキュリティ担当者などセキュリティに関わる方
- 自動車関連企業をお客様にもITエンジニアの方 ほか

講師

井上 博之氏(京都産業大学 情報理工学部 教授)

[略歴]

1987年大阪大学工学部電子工学科卒業、1989年大阪大学大学院工学研究科電子工学専攻修了。同年住友電気工業入社。2000年奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士後期課程 博士(工学)。2000年インターネット総合研究所、その後IRIコピテック。2007年広島市立大学大学院情報科学研究科講師、2010年同大学 准教授。2021年京都産業大学情報理工学部 教授、現在に至る。組み込みシステムの情報セキュリティ、特に広域ネットワークにつながる家電や自動車のセキュリティについて、その脆弱性やセキュアな通信プロトコルに関する研究開発を行っている。

得られる効果

- ☑コネクティッドカーや自動運転など車載ネットワークへのサイバー攻撃の実状を知ることができる
- ☑近年の自動車のアーキテクチャの変化と必要とされる人材について技術者が必要とされるスキルや知識について知ることができる
- ☑IoT機器やサイバー攻撃へのセキュリティ対策として製造業が何をしていく必要があるかのヒントを得ることができる

内容

「コネクティッドカーのサイバーセキュリティ」

コネクティッドカーや自動運転車について、広域ネットワークにつながることによるリスクや攻撃事例について解説します。また、研究室で行っている実車を使ったホワイトボックス解析の結果やなりすまし制御のデモをご覧に入れます。

「アーキテクチャの変化と求められる人材の変化」

ADAS、コネクティッドなサービス、EV化など、自動車のアーキテクチャが大きく変化しており、求められるソフトウェア技術者とネットワーク技術者の状況について説明します。

「若手向け人材育成プロジェクトのご紹介」

SecHack365、セキュリティ・キャンプ、ICSCoEなどの若手向けの人材育成プロジェクトについて実施概要や成果についてご紹介します。

受講料・定員

受講料: 10,000円/名(税別)(税込11,000円)

※懇親会費別途: 当日徴収いたします/領収証を発行します

定員: 15名(最少催行人員5名)

お申込方法

メールでお申込いただけます。
申込締切: 12月1日(金)

送先先: jinzai@hamanako.co.jp
件名: 自動車業界向けサイバーセキュリティ講座申込
メールに右記の内容を記載の上、お送りください。

- ①貴社名
 - ②ご住所(郵便番号もお願いします)
 - ③ご担当者 お名前・ふりがな/部署・役職/電話番号/メールアドレス
 - ④受講者 お名前・ふりがな/部署・役職/メールアドレス(参加方法ご連絡先)
 - ⑤懇親会参加希望 有無(先着10名)
- ※受講者が複数名いらっしゃいましたら、人数分記載ください。
※受講者をご担当者と同じ方でしたら、その旨記載ください
※お送りいただいた情報は、本講座のご連絡のほか、今後の情報提供で利用する場合がございます。

キャンセル及びキャンセル料について
●キャンセルされる場合には、講座開催日10日前の17:00までに、メールまたはお電話でご連絡ください。それ以降のキャンセルにつきましては、原則として受講料の全額をご負担いただきます。
●受講者の変更は、キャンセル料は発生いたしません。

[主催] 株式会社浜名湖国際頭脳センター [企画協力] 株式会社アドウィル

お問合せ: 株式会社浜名湖国際頭脳センター(担当: 米良・佐藤) ☎053-416-4002 ✉jinzai@hamanako.co.jp